

第1章 総合戦略策定の趣旨等

項目	No.	ご意見	対応（※【 】は第2期総合戦略（案）（資料1-4）の該当頁）
2 総合戦略の位置づけ	1	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域創生総合戦略が県の他の政策と連携していることがわかるようにしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域施策について、県総合計画及び分野別の個別計画と一体的に推進することを追記【P1】

第5章 総合戦略の具体的な展開

観点1：地域コミュニティの自治力強化、地域の保全

項目	No.	ご意見	対応（※【 】は第2期総合戦略（案）（資料1-4）の該当頁）
(1)住民主体の地域づくり	1	<ul style="list-style-type: none"> 移住者など新しい方をどの程度受け入れるかについて、地元住民が合意した上で受け入れていくことが必要 	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部人材の受入れに向けた話し合いによる地域の体制整備が重要である旨を追記【P41】 話し合いを牽引するリーダーやサポートする人材の育成、集落の教科書など外部人材を受け入れるための地域の取組に対して引き続き支援する
	2	<ul style="list-style-type: none"> 各地域では活性化に取り組みたいと思っても組織化が難しい。関係人口・移住者を受け入れるための接着剤・クッションとなる地域組織の支援が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域「話し合い」促進事業では、地域づくりのコーディネーターを派遣し、地域活動に取り組む意欲のある方の発掘やつながりの構築、今後の活動計画を話し合う場を提供している あわせて、地域組織の核となる人材育成の研修や地域活性化に向けた取組の支援も地域のニーズをお聞きしながら引き続き実施してまいります

第5章 総合戦略の具体的な展開

観点1：地域コミュニティの自治力強化、地域の保全

項目	No.	ご意見	対応（※【 】は第2期総合戦略（案）（資料1-4）の該当頁）
(1)住民主体の地域づくり	3	<ul style="list-style-type: none"> 個々のコミュニティの活性化だけでは限界があるため、民間においても横の刺激のし合い、繋がりが醸成されていく必要がある。住民発の県域を網羅するような中間支援組織があると施策の展開も変わってくる。各地の中間支援組織をネットワーク化することは県にしかできない。そのような施策も取組の中に加えてほしい 	①住民主体の地域づくりの促進【具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> 各地域が行っている地域活性化活動について、SNS等を活用して好事例を集約・可視化し、積極的な情報発信により横展開を図る。あわせて、自治体や集落の垣根を超えた情報交換や交流、将来的な連携につながる場づくりに取り組む旨を追記【P42】
	4	<ul style="list-style-type: none"> 中山間地域においても、このエリアは企業と一緒に取り組むエリアなんですよという位置付けをすることで、オーナーシップを高めることができる 	②地域運営組織の整備及び地域間の連携強化【具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> 地域と企業等が一体となって行う、中山間地域の活性化や課題解決のための取組を支援する旨を追記【P43】 ③多様な人材が活躍する地域づくり【具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> 企業や団体等が中山間地域において行う社会貢献活動を支援する旨を追記【P43】
	5	<ul style="list-style-type: none"> 観点1に「次世代を担う人材の育成」という項目を設け、地域活動に参加しやすいような環境を作っていくということが反映できるような文言を盛り込んでほしい 	施策体系 <ul style="list-style-type: none"> 施策の基本方向として「④次世代を担う人材の育成」を追加【P40、P43】 ④次世代を担う人材の育成【具体的な取組】 <ul style="list-style-type: none"> 若者や子育て世代、働く世代が地域活動に継続的に参加しやすい環境の整備に努める旨を追記。あわせて、関連の取組を追記【P43】 新年度からまずは、地域活動の棚卸し等により多様なライフスタイルの住民が参加しやすい活動の再設計に取り組む地域を支援してまいりたい
	6	<ul style="list-style-type: none"> 住民主体の地域づくりに積極的に取り組む「自治力」の高い地域を優先的に支援して、担い手としての「人づくり」を進めるべき 	<ul style="list-style-type: none"> これまでも、中山間地域「話し合い」促進事業やチャレンジ支援事業などにおいて、住民が主体となった地域づくりに取り組む地域に対して支援してきている。事業を通じて地域の担い手となる人材も生まれてきており、引き続き積極的に支援してまいりたい

第5章 総合戦略の具体的な展開

観点1：地域コミュニティの自治力強化、地域の保全

項目	No.	ご意見	対応（※【 】は第2期総合戦略（案）（資料1-4）の該当頁）
参考指標	1	<ul style="list-style-type: none"> （「空き家バンクの登録件数」の目標について）空き家が今後ますます増えていくという肌感覚がある。空き家が加速度的に増加するスピードに比べると、低い目標のように感じる 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家が「空き家のまま」である理由については、例えば、相続した所有者が遠方にいる、家財道具の片付けが大変、愛着があり手放したくないなど様々ある。また、空き家バンクは空き家であることを公表することから、掲載を拒む住民もおられ、急激に登録件数を増やすことが難しい面もある 一方で、ご指摘のとおり空き家は増加していることから、目標を「500件/年」から「600件/年」に修正し、空き家の利活用を推進していく【P50】

観点2：地域の特性を活かした経済の活性化

項目	No.	ご意見	対応（※【 】は第2期総合戦略（案）（資料1-4）の該当頁）
(4)地域の特性を活かしたビジネスの振興	1	<ul style="list-style-type: none"> 新しく創業する人を呼ぼうとか、新しいビジネスを作ろうというのは、今、事業を営んでいらっしゃる、中山間地域で頑張っている皆様が含まれてないように見える。既存の事業や産業も大事にしつつということが含まれていることがわかるような記載が必要 	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域産業の総合的な支援に加え、」を追記し、既存産業の支援に加え、企業の誘致や新しいビジネスの創出が必要であることがわかる内容に修正【P51】 <p>施策体系</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策の基本方向の「③農林水産物の高付加価値化」を「③高付加価値化による地域産業の振興」に修正【P40、P53】 ③高付加価値化による地域産業の振興【具体的な取組】 関連の取組を追記【P53】

第5章 総合戦略の具体的な展開

観点2：地域の特性を活かした経済の活性化

項目	No.	ご意見	対応（※【 】は第2期総合戦略（案）（資料1-4）の該当頁）
(5)中山間地 農業の活性化	1	<ul style="list-style-type: none"> 記載の中山間地農業の取組（主にスマート農業の推進について）は、実際には中山間地の農業に当てはまる部分が少ないと感じる。他の先進地域の事例などで、中山間地でも取り入れられる取組を進める必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> スマート農業にも多くの技術があり、大区画ほ場を主ターゲットとした大型トラクタの無人運転などは、ご指摘のとおり、現時点において中山間地域では取り入れが難しい 中山間地域におけるスマート農業の推進については、中・小型の農機の自動操舵システムの導入の支援や、除草や水管理の省力化に向け、機械除草に対応した畦畔整備や水路のパイプライン化・水管理ICT技術導入を図り、県内での先進事例も取り入れながら中山間地域でも導入しやすい技術の導入を支援してまいる あわせて、ドローンを活用した病害虫防除などの農作業の代行や農機のリース・シェアリングなどを行う農業支援サービス事業者の育成も進めてまいりたい
(7)鳥獣被害の 防止等	1	<ul style="list-style-type: none"> クマが出ることで、農作業や生活に影響が出ている。住民社会と野生動物との接点が減るような見通しを長期的でも示していただければと思う 	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年のツキノワグマの出没を受けて追記【P59】 ①野生鳥獣の適正な保護と管理【具体的な取組】 ツキノワグマによる人身被害防止の新たな取組を追記【P61】

第5章 総合戦略の具体的な展開

観点3：安全・安心な暮らしの確保

項目	No.	ご意見	対応（※【 】は第2期総合戦略（案）（資料1-4）の該当頁）
(9)日常生活を支えるサービスの確保や取組の推進	1	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援等の観点からデマンド交通、自家用車を活用した自治体ライドシェアを積極的に導入していくべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年2月に策定した富山県地域交通戦略に基づき、新たなモビリティサービスの立上げに向けた取組を支援しており、引き続き持続可能で最適な地域交通サービスの確保・向上に向けて取り組んでまいりたい
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的には自動運転、ドローンを活用した物流、AIやロボットを活用した生活支援も視野にいれるべき 	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来的な地域の持続性確保に向けて、自動運転、ドローン物流、AI・ロボット等の先端技術を活用した生活支援の取組について注視していく旨を追記【P69】 <p>①持続可能で最適な地域交通サービスの確保・向上【具体的な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転の実用化に向けた社会実装の取組への支援に関する記述を追記【P69】

第5章 総合戦略の具体的な展開

項目	No.	ご意見	対応（※【 】は第2期総合戦略（案）（資料1-4）の該当頁）
施策全体	1	<ul style="list-style-type: none"> 第2期総合戦略の素案では教育や公共交通について書いてあるが、他方で学校が統廃合されたり、公共交通機関がなくなったりしており、総合戦略の記載内容と矛盾しているようなことが起きている。各分野の方針も踏まえた対策を実施することが必要ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> 第2期総合戦略、また新たな総合計画においては、人口減少社会においても持続可能な地域となることを目指し、各分野の個別計画と一体的に施策を推進することとしている 例えば、県立高校については、「新時代に適応し、未来を拓く人材の育成」を基本目標とする「新時代とやまハイスクール構想」において、人口減少・少子化が進む中においても、生徒に多様な選択肢を提供できるよう、それぞれ特色ある高校を県内にバランスよく設置することとしている 公共交通については、地域交通をとりまく環境は、人口減少・少子高齢化の進展や担い手不足により、厳しさを増しているが、富山県地域交通戦略に基づき、地域の活力・魅力や住民のウェルビーイングの向上をもたらす持続可能な地域交通サービスの確保を目指して取り組んでいる 引き続き関係部局と調整のうえ、各施策を推進してまいる

第6章 総合戦略の推進

項目	No.	ご意見	対応（※【 】は第2期総合戦略（案）（資料1-4）の該当頁）
2 推進体制と進捗管理	1	<ul style="list-style-type: none"> 進捗管理については、今回の素案では大ざっぱにしか盛り込まれていない。今現在どんな方向性を持っているのか 	<p>（2）総合戦略の実効性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 進捗管理については、設定した参考指標の達成状況や各施策の効果を定期的に把握する。あわせて、中山間地域創生総合戦略検討会において、客観的な視点から検証・助言をいただきながら、社会情勢の変化を踏まえて施策を見直し・改善し、必要に応じて新たな施策を検討・立案する旨の記述に修正【P76】